

興味関心を生み出す授業づくり
が上手くいかない・子どもとの
関係づくりに悩んでいる

今まで参加した研修とはひと味
違う講座に参加してみたい・普
段関われない専門家と学びたい

【土曜公開講座】に参加しませんか

令和4年度 土曜公開講座



「仲間の実践を聞いて
みたい、学びたい」

一人で学ぶよりも、同じ教育者同士・仲間の取り組んでいることや感じているものを聞くことで視野が広がり、自らの実践へと繋がっていきます。



「授業づくり・学級づくり
の悩みを語り合いたい」

貴重な先生方の講義を直接聞くだけでなく、仲間と同じ悩みを共有し、話すことで新しい考えや捉え方をインプットできます。



「私の実践と一緒に振り
返ってほしい」

実践を仲間と話し合うことで、『その時の関わり』が子どもたちにとって『何に繋がっていったのか』を確認することが出来、より濃い振り返りを行う事ができます。



質疑・懇談を含めた
講話

事例報告を通して、
物事を客観的に捉え
て自分自身の実践と
照らし合わせる。

グループに分かれて、
1つの事例に対して
話し合い、考えを深
める。

どのような考え・捉
え方があるのか、再
度全体で話し合う。

1



佐伯 胖 所長

5月14日(土)
10:00~15:10

「学びが
『おもしろくなる』
とは」

2



松木 健一 特任所員

9月3日(土)
10:00~15:10

「超スマート社会
だからこそ、
学びを問い直す」

3



岩川 直樹 特任所員

10月22日(土)
10:00~15:10

「時を語る教師」

4



奈須 正裕 特任所員

12月17日(土)
10:00~15:10

「個別最適な学び
と
協働的な学び」



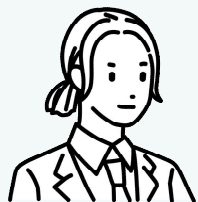
これからの教育のあり方について改めて考えさせられる内容だった。自分の実践を振り返ると、子どもに何かを身につけさせるという「支配的な教育観」であったことが多く、当時子どもたちに申し訳ない気持ちにもなった。互いのふれあいと分かち合う豊かさを大切にしていくこと、育った姿よりも「今育ちつつある姿」に寄り添うことの大切さについて、実践例からイメージができた。まずは、自分がそんな子どもたちの姿や先生方の実践を見取り、伝えていきたいと思う。

コロナ禍で参加しての講演会等ができない中、こうしてオンラインで講座を開催していただき、大変ありがたく思う。オンライン参加という事で、どこでも受講する事ができるので大変ありがたい。



有名な人、力のある人などから、教育での問題を丁寧に説明し、最新の情報を知らせていただいた中で、自分の居るところでじっくりと見聞きし得ることができるのは、大変ありがたい。このような機会が多くあると為になると思う。

大変よい貴重な機会となった。まさに教育の原点、子どもとの向き合い方を改めて教えていただけた。今、この時に最も求められている【私たちの姿勢】であると感じる。



自分の今までの実践について、どんなことに価値があって、これから大切にしていくことは何かを見返すことができ、有意義だった。具体的な事例も入れていただき、身近に感じられたこともよかった。信州教育が大事にしたいことが分かった。

講堂(定員30名)で開催します。
(オンライン参加可・100名まで)
参加費は無料です。
定員になり次第締め切らせていただきます。



参加希望の方はQRコードによる【申込フォーラム】がありますので、信濃教育会HPにあります、【お知らせ・ご案内】を確認していただくか、[担当・お問い合わせ]の教育研究所までご連絡ください。



来館にあたっては、感染防止の対策(マスクの着用、うがい、手洗い、咳エチケットの徹底)にご協力をお願いします。また、会場に用意しております「アルコール消毒液」、「手洗い消毒液」をご利用ください。



講座へ参加する
にあたって